

破片（かけら）（ペップ・リャド）

家の至る所に破片が散らばっている
静寂の泡が宙に浮かんでいるように
求めればそこに君を見いだせることを知っている
一つ一つの思い出がそこに隠されていることを

破片の間を歩く 迷路の中を行くように
どこにどの破片があるかは知っている
君の本のページの折り目に
髪を梳かす時に座っていた椅子に

どうしよう こんなにたくさんの思い出を
どうしよう こんなにたくさんのキスを
どうしよう こんなにたくさんの「愛してる。」を
どうしよう こんなにたくさんのキスを

行く先々へ持っていこう
もうそれなしでは歩くことさえままならないから

家の至る所に破片が散らばっている
毎日新しい破片を見つける
白い服だけをしまっていた引き出しの中に
空を見ながらもたれていた窓の片隅に

ベッドの周りに破片が散らばっている
夜中、そのいくつかに躓く
時には痛みをもたらし、時には癒してくれる
そしてたまに君の髪の毛の匂いを運んでくれる